

平成27年度工業用水道事業会計決算概要

(1) 概要

- 契約水量は、一部のユーザーで増量があったものの、日野川で1社の利用廃止があったため、前年度比0.1%減の36,050 (m³/日)となった。しかしながら、事業収益は、年間給水量の増加などにより、前年度比7百万円増の5億31百万円となった。
- 一方、事業費用は企業債償還利息など4百万円減少したことから、純損失は前年度比11百万円減の1億80百万円となった。

(2) 収益的収入・支出(3条)

(税抜、単位：百万円)

区 分	27年度	26年度	差 引	備 考				
				【契約給水量及び単価等】				
				区 分	契約水量 (m ³ /日)	契約企業数	年間給水量 (千m ³)	単価 (円/m ³)
①収益	531	524	7	日野川工業用水道	30,200 (30,300)	83 (84)	6,461 (6,060)	既設：20 石州府：50
営業収益	390	381	9	鳥取地区工業用水道	5,850 (5,800)	12 (12)	1,301 (1,556)	45
給水収益	390	381	9	合 計	36,050 (36,100)	95 (96)	7,762 (7,616)	
営業外収益	140	140	0	①内は昨年度実績等、単価は昨年度と同額				
特別利益	1	3	△2					
②費用	711	715	△4					
営業費用	584	578	6					
業務費等	182	175	7	日野川工業用水道配水管漏水予防対策工事等による増				
減価償却費	402	403	△1					
営業外費用	126	136	△10	企業債償還利息の減				
特別損失	1	1	0					
当年度純損益(①-②)	△180	△191	11					
前年度繰越欠損金	2,494	2,303	191					
当年度未処理欠損金	2,674	2,494	180					

(3) 資本的収入・支出(4条)

(税抜、単位：百万円)

区 分	27年度	26年度	差 引	備 考
①資本的収入	288	258	30	
企業債	12	29	△17	
出資金	243	229	14	一般会計からの鳥取工水への出資金
負担金返還金	33	0	33	殿ダム建設費精算に伴う国土交通省からの負担金返還
②資本的支出	454	435	19	
建設改良費	19	27	△8	既設設備の改良費等
企業債償還金	425	408	17	
補助金返還金	10	0	10	殿ダム建設負担金返還に伴う経済産業省への補助金返還
差引(①-②)	△166	△177	11	

実質資金収支(キャッシュフロー)	△80	△105	25	3.4条収支合計に減価償却費等非資金収支を加減した額
------------------	-----	------	----	----------------------------

○主な改良事業(消費税抜)

日野川工業用水道凝集剤注入ポンプ更新工事 (3百万円)

(4) 借入金等の状況

○企業債 (単位：百万円)

	前年度末残高	当年度借入額	当年度償還額	当年度末 未償還残高
日野川	2,008	7	182	1,833
鳥取地区	4,219	5	243	3,981
計	6,227	12	425	5,814

(注) 建設改良費の充当財源として借入

○一般会計長期借入金 (単位：百万円)

	前年度末残高	当年度借入額	当年度償還額	当年度末 未償還残高
日野川	682	0	0	682

(注) 石州府への給水事業に伴う収益的収支の資金不足分を借入(H7年度~H17年度)

○一般会計出資金 (単位：百万円)

	前年度末繰入累計	当年度繰入額	当年度末累計額
鳥取地区	2,327	243	2,570

(注) 企業債の元金償還金相当額について出資金を繰入(H11年度~)